

2023年2月6日発行



熊本県地域福祉メールマガジン

【みんなでたのしく輪になって】 No. 145

発行：熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域支え合い支援室



熊本県の地域福祉情報を届けるメルマガです。
地域福祉に関するタイムリーな話題を提供していきます。

＋・・・・・・・・・・・・・・・・目次・・・・・・・・・・・・・・・・＋

—お知らせ—

- 1. 「地域の縁がわ」情報交換会の開催について
- 2. 「地域の縁がわ」普及啓発用DVDの貸出について

■ お知らせ 1 ■

「地域の縁がわ」情報交換会の開催について

熊本県では、地域の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、歩いていける日常生活圏に、地域の誰もが気軽に集い、支え合う地域の居場所「地域の縁がわ」づくりを推進しています。

これから縁がわ活動を始めようと考えている方、地域福祉に関心がある方などを対象に、地域で取り組まれている活動や先進事例等を紹介する情報交換会を開催します。参加を希望される場合は、下記まで申してください。

■日時・場所

令和5年（2023年）2月21日（火）14時から16時まで

熊本市健軍文化ホール

（熊本市東区若葉3丁目5番11号）

■申込先

特定非営利法人おーさあ（TEL：096-214-0003） 担当：宮川、赤星

詳しくは、熊本県のホームページ（下記URL）でご確認ください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/27/115842.html>

■ お知らせ 2 ■

「地域の縁がわ・地域ふれあいホーム」普及啓発用DVDの貸出について

縁がわ活動に興味がある方、地域福祉活動や地域づくりに関心がある皆様に活用していただけるよう、DVDを貸出しております。

貸出を希望される方は、下記問い合わせ先までおたずねください。

【タイトル】

「つながり共に生きる そこが地域の縁がわ」

【収録内容（約18分）】

- ・ 地域住民の居場所としての最近の取組み状況や地域との連携を図る手法
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染予防のため「新しい生活様式」を取り込みながら実践される地域福祉活動の事例
- ・ 熊本地震や令和2年7月豪雨災害等からの復旧・復興において、「地域の縁がわ」等を通して実践された地域の互助活動の事例

【貸出に係る問合せ先】

特定非営利法人おーさぁ（TEL：096-214-0003） 担当：宮川、赤星

メルマガの配信について

▲▽メルマガ配信希望の方は、下記によりご登録ください。▽▲

【登録方法】

- 1 下記の登録用メールアドレス宛に、必要事項を記載したメールを送信してください。
- 2 県地域支え合い支援室で登録を行います。
- 3 「グループ参加のお知らせ」メールが届きます。
- 4 今後は、「kuma_fukumachi」からメールが届きます。

★ 登録用メールアドレス

kuma_fukumachi@pref.kumamoto.lg.jp

★ 登録用メールアドレスに記載する必要事項

- 1 事業所・団体名
- 2 代表者名
- 3 住所
- 4 連絡先電話番号
- 5 登録するメールアドレス

▲▽メールマガジン配信の変更は▽▲

変更事項、事業所・団体名、連絡先を記載のうえ、メールにてご連絡ください。送信ください。

▲▽メルマガ登録団体からのお知らせについて▽▲

- ・地域福祉の推進に資すること
- ・政治性・宗教性のないこと
- ・営利性のないこと
- ・団体の取組みのPRに終始するものでないこと

等の条件を満たすものについては、登録団体からのお知らせ等を掲載することができます。掲載事項、事業所・団体名、連絡先を記載のうえ、問合せ先にメールにてご連絡ください。

▼メルマガに関する問合せ先 ▼

熊本県健康福祉部健康福祉政策課地域支え合い支援室

TEL 096-333-2201 FAX 096-384-9870

メルマガに関する問合せ先

E-mail : kuma_fukumachi@pref.kumamoto.lg.jp

▼メールマガジンバックナンバーはこちら▼

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/27/51329.html>

-----編集後記-----

今回は、今年度第2回目の情報交換会の開催をお知らせしました。

「地域福祉に関わりたいけど何から始めたらいいのか…、みんなどんなことをしているのだろうか…、何に気を付けるといいのか…」などのヒントとしていただけるのではないかと考えています。情報交換会への出席が難しい方は、DVDを是非ご覧ください、

ウィズコロナの社会・経済活動の本格化に向けて、引き続き、十分な感染対策をとりながら、「地域の縁がわ」づくりを進めていきましょう。